

胃がん内視鏡検診のご案内

- 2016年より胃がん検診はバリウム検査だけではなく、内視鏡検査も選択できるようになりました。
- 内視鏡検査の一番の特徴は、バリウム検査と異なり、胃の粘膜を直接見ることができることです。小さな病変（初期のがんなど）の発見に役立ち、その場で組織の検査を行うこともできます。また、放射線被ばくの影響もありません。そのため、当院では、内視鏡検査による胃がん検診をお勧めしています。
- しかし、内視鏡検査にも欠点があります。多くの方がバリウム検査よりも内視鏡検査の方が苦しいと感じています。当院では、通常の口からの内視鏡（のど麻酔のみ）に加え、鼻からの内視鏡（経鼻内視鏡）や検査の際に鎮静剤（眠りぐすり）を注射して、眠っている間あるいはぼんやりした状態で検査を受けることもできます。個人差がありますので、希望で選んでいただきます。



対象となる方 40歳以上の宇都宮市民の方

料 金

3290円
（鎮静剤を使用する場合は
1500円追加になります）

受付窓口
（ご連絡先）

内科外来
028-622-5241（病院代表）

ご持参頂くもの

『保健証』
宇都宮市より郵送された『受診券』

* 鎮静剤をご希望の方は、公共機関での来院または送り迎えのご用意をお願い致します

